

久山中便り

久山中学校

令和7年6月13日発行

第16号

探究活動に挑戦

総合的な学習の時間

6月に入って、各学年では、探究的な活動を中心として学びを進める総合的な学習の時間がスタートしています。

三年生は、進路選択に向けた取組です。

進路希望調査を提出し、本格的に高校の情報収集します。30日(月)には、私立3校、公立3校の先生方から「出前授業」を行っていただきます。たくさん情報を得ることのできる自分の適性にあつた進路先を選択して欲しいと思います。

二年生は、職場体験に向けた取組です。

7月7日(月)には、「職業人に学ぶ」と題して、町役場、旅行社、久原本家などからゲストをお招きし、パネルディスカッションを予定しています。ゲストは「働きがい」や「働きやすさ」をどのようにとらえてあるのでしょうか。話を聞くのが今から楽しみです。

また、二年生は、防災についても学習を進めています。災害時の中学生の役割、避難所

運営でできることなどを防災専門官から学びます。昨今、災害が身近に感じられます。自助、共助、扶助についても考えていきます。

一年生は、宿泊体験に向けた取組です。

学年代表の実行委員長を選出し、美化、生活、学習係長なども決まりました。

2泊3日の行程では、絆を深める活動や合唱コンに向けた取組も計画されているようです。今後は、学級での班決めや班長の選出などが予定されています。一年生が、自ら進んで各係に立候補し、自分自身の可能性にチャレンジする活動になることを期待しています。

福岡県学力調査

11日(水)に福岡県学力調査を実施しました。この調査は、全国学力調査と異なり、福岡県が独自に行っているもので、今回初めて、タブレットで回答する形式で行いました。

2週間前にもチャレンジしましたが、通信回線が混み合っており、なかなかうまくつながりませんでしたが、今回は、成功したようです。



試験問題も「紙」から「電子」へと変わってきています。今後は、さらに試験問題の電子化が進むはずで、

日頃から、ICTの利活用に慣れ親しみ、活用を力を高めておきましょう。

科学の甲子園ジュニア

福岡県では、「科学の甲子園ジュニア」を毎年、開催しています。

これは、数学・理科に関する難易度の高い問題を、チーム(三名一組)で解決していく競技で、全国大会までつながっています。

予選は、県内8つの地区大会上位チームが県大会。県大会2位までに入ると、全国大会へと出場できます。(予選は筆記競技のみ、県大会は、筆記と実技競技があります。)

過去の問題例としては、「気体の発生(中二で学習)」といった基本的な問題から、クリオネ(軟体動物)を題材とした動物の分類・進化に関する難易度の高い問題まで、様々です。(科学の甲子園ジュニアのHP参照)

本校からも、3チームが出場予定です。7月27日(日)

に吉塚合同庁舎で開催される地区大会での活躍を期待しています。



イメージキャラクター「アッピン」